




夢を拓く 

女子中高生のための

 \* キャリア・サポート<sup>®</sup>

# 計画ツールキット



SOROPTIMIST<sup>®</sup>



# 夢を拓く

女子中高生のための

 **キャリア・サポート**®

## 計画ツールキット

ソロプチミスト/LIVEYOURDREAM.ORGの資料

### 「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」によるこそ

#### 目次:

I. はじめに.....	2
II. 計画委員会を設置する.....	3
III. SIAの調査ならびに利用可能な資料を参照する.....	4
IV. SIA若者と一緒に活動するための基準.....	4
V. コミュニティー評価を行う.....	5
VI. 女子中高生助言グループを作る.....	5
VII. モデルを選ぶ: 小規模なグループ・メンターリングもしくは会議.....	7
VIII. 地域社会のパートナーと関係を築く.....	8
IX. 予算作成と資金調達.....	8
X. 会場を見つける.....	9
XI. 「夢を拓く」に参加する女子中高生を探す.....	9
XII. 次のステップ.....	10

注1: メンターリング=対話を通じて人材育成を支援する方法

#### I. はじめに

「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」のゴール: 教育とお手本となる女性を通じて、女子中高生がエンパワーされ、キャリア目標を追求し、その潜在能力を発揮できるようになる。

ソロプチミスト/LiveYourDream.orgによる女の子のための国際的プログラム「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」へようこそ。「夢を拓く」は、将来成功する上で障害に直面しているSecondary schoolに通う女児(日本では、中学校、高校に通う14歳から18歳までの女児)を対象にしています。このプログラムは、女子中高生が、プロフェッショナルな手本を見つけ、キャリア教育と夢を生きるための資源を得られるようにします。取り扱うトピックには、どのようなキャリア・チャンスがあるか、目標を設定して達成すること、成功に向け障害を克服すること、失敗や挫折の後に立ち直り前進する方法などが含まれます。

ソロプチミスト/LiveYourDream.orgは、世界中の女児たちが何を必要とし、それらのニーズに応えるために私たちに何ができるかを探るため、**調査**を行いました。ソロプチミスト/LiveYourDream.orgは、22カ国の女児から412件のアンケートへの回答を受け取り、7カ国で女児を対象にしたフォーカス・グループを計50回実施しました。さらに二次調査を行い、女児の問題に取り組む専門家へのインタビューも行いました。

Secondary schoolとは、小学校・中学校の後、高等教育や職業訓練の前に提供される教育と定義されています。通常、Secondary schoolに通う女児の年齢は14-18歳です。日本では中学校、高等学校を指します。

これらから、女児は夢を生きるために数多くの障害に直面していることがわかりましたが、女児ならびに専門家は、女児が知識と助言を共有できるメンターや信頼できる大人と知り合う必要がある点で意見が一致していました。つまり、女児のニーズと、ソロプチミスト/LiveYourDream.orgが提供できるものが合致していました。私たちは共に力をあわせることで、「夢を拓く」を世界で認知されるプログラムにし、女児が潜在能力を十分に発揮し、夢を生きられるようエンパワーすることができます。

### キャリア・サポート:

長期的成功をもたらす職業を目指すための経済的支援を含む支援、手助け。

すべての女児が、これからの人生で何をしたいか認識しているとは思いませんが、「夢を拓く」を通じて学ぶ技能は、目標として選んだ職業、もしくはそれを目指す決心するタイミングに関わらず、女児の役に立つことでしょう。

### ソロプチミスト/LiveYourDream.orgの夢プログラム

「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」は、ソロプチミスト/LiveYourDream.orgが長年実施している「夢を生きる: 女性のための教育・訓練賞」の仲間に加わります。「夢を生きる賞」が、女性を支援する主要プログラムであるように、「夢を拓く」は女児を支援する主な方法です。

ソロプチミスト/LiveYourDream.orgが提供するこれらの夢プログラムは、女性と女児に有意義な支援を提供し、潜在能力を発揮して夢を生きるために必要な教育や訓練へのアクセスを得られるようにします。ソロプチミスト/LiveYourDream.orgは、女性と女児に持続的で測定可能な影響をもたらすことが実証されているこれらのプログラムに専心しています。私たちがもたらしている影響については、ウェブサイト[www.soroptimist.org](http://www.soroptimist.org)を訪れてください。

## II. 計画委員会を設置する

- 「夢を拓く」をその他のボランティアに紹介し、参加への関心を測りましょう。
- プロジェクトを計画し、実施し、評価を行うことに情熱を傾けてくれる献身的なボランティアで構成される計画委員会を設置しましょう。

### III. SIAの調査ならびに利用可能な資料を参照する

「夢を拓く」の創設につながったSIAの包括的な調査報告を読み、プロジェクトを計画するためのあらゆる資源について情報を入手します。

- 調査と影響
  - [影響に関する情報画像](#)
  - [調査報告](#)
  - [「夢を拓く」ビデオ](#)
- 計画のための資料
  - [「夢を拓く」よく聞かれる質問](#)
  - [計画ツールキットの概要](#)
  - [地域社会のパートナーへの提案\(カスタマイズ可能\)](#)
  - [ニュースリリースの見本\(会議\)](#)
  - [ニュースリリースの見本\(小規模なグループ・メンターリング・セッション\)](#)
  - [参加者募集のチラシ](#)
  - [保護者への手紙の見本](#)
- カリキュラムの資料
  - [カリキュラム・ガイド](#)
  - [カリキュラムへのアクセス](#)
- 評価資料
  - [評価ガイド](#)
  - [報告と評価のための作業シート](#)
  - [女兒のための評価用紙](#)
- 補足資料
  - [キャリアの意欲をもたせるパワーポイント資料](#)
  - [プロジェクトを成功に導くヒント](#)
  - [ファシリテーターを務める際のヒント](#)
  - [「夢を拓く」 頒布品](#)
  - [「夢を拓く」 Tシャツ](#)

付随の計画ツールキットの概要を使って、計画プロセスの各ステップの予定日を設定し、進捗状況を追跡しましょう！

### IV. SIA若者と一緒に活動するための基準

参加する若者のために安全な環境でプロジェクトを実施するクラブを支援するため、「夢を拓く」に参加するすべてのクラブには、[SIA若者と一緒に活動するための基準](#)で示されているガイドラインと基準を順守することが求められます。

一部の国では、若者と一緒に活動することについて規則があります。あなたの州や国の法規を確認し、どのような身元調査あるいはその他のクリアランスが、女兒と一緒に活動するボランティアに必要とされているかを理解することが必要です。米国とカナダでは、「夢を拓く」の現場で女兒と一緒に活動する全てのボランティアは、身元調査を完了させておく必要があります。これは、若者と一緒に活動する際に起こり得る法的責任から組織とボランティアを守るため、SIA/LiveYourDream.orgの保険会社から義務付けられています。

- [SIA若者と一緒に活動するための基準チェックリスト](#)を完了し、あなたのクラブが順守していることを確実にしましょう。

## V. コミュニティー評価を行う

「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」のための調査とプロセス設計を開始するにあたり、ソロプチミスト/LiveYourDream.orgは19の国・地域で調査とニーズの評価を行いました。キャリア・サポートというプログラムの焦点は、主にそれが世界中の女兒によって特定されたニーズであったことから決定されました。でも、女兒の具体的なニーズや利用可能なサービスは、場所によって異なります。今度は、あなたが地元の状況について調べ、コミュニティー評価を行う番です。

コミュニティー評価のゴールは以下の通りです:

- 女兒が利用できる支援サービスにはどんなものがあるか、それにキャリア・サポートが含まれているかどうかを調べましょう。
- あなたの地域社会に暮らす女兒のニーズと、「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」がそうしたニーズにどう応えることができるかを見つけ出しましょう。
- プロジェクトのために連携できる可能性のあるコミュニティー・パートナーを探し、関係を築き始めましょう。パートナーは、プロジェクトの恩恵を受けられる女兒を探すのを手伝ったり、あるいは、講演者やメンター役を引き受けてプロジェクトを助けてくださるかもしれません。
- 経済的もしくは物的支援を提供できる可能性のある地元企業を探しましょう。他の団体の活動と同じような活動にならないように注意しましょう。
- 関係者に加わってもらい、プロジェクトへの支援を築くようにしましょう。

パートナーになる可能性があるのは、学校、自治体、ガールスカウト、女子中高生向けのクラブ、YMCA、YWCA、非営利団体、大学、女兒支援センターなどです。

### 評価を行う際に役立つ質問

- どのような団体や機関が、すでに女兒のために活動しているでしょうか？
- 地元の機関、学校、団体は女兒のためのキャリア・サポートを提供していますか？
- それらのプログラムが対象にしているのはどのような女兒ですか？そこから抜け落ちている女兒はいますか？
- どのような団体、企業、個人が、「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」を支援することに関心を持つでしょうか？
- 学校には進学や就職のためのカウンセラーがいますか？どのような支援を提供していますか？

コミュニティー評価を始める上で素晴らしい出発点はあなたが既に知っている人々です。あなたが交流しているボランティアもしくは人々に、女兒と一緒に活動している地域の組織や地元の学校とつながりを持っているかどうか尋ねてみましょう。そして、つながりを持っている人々に、それらの団体や学校に関して上記の質問を尋ねてみましょう。これらのつながりは、さらに他の可能性のあるパートナーや情報源へとあなたを導いてくれるでしょう。

コミュニティー評価を通じて得た連絡先を記録して整理しておくようにしましょう。それらの団体、学校、企業と一緒に活動することを選ばなかったとしても、プロジェクトの後の段階で、「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」に参加する女子中高生のための資源や支援として協力が必要になるかもしれません。

## VI. 女子中高生助言グループを作る

「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」プロジェクトを計画し始める際には、女子中高生を参加者として含めるだけでなく、計画者としても含めることが大切です。どのようなプロジェクトでもそうですが、手を差し伸べようとしている人々の意見を取り入れることはとても重要です。それは、自分の意見を聞いてもらう機会があまりない14歳から18歳までの女子中高生にとって、特に大切です。女子中高生の声を取り入れるために、女子中高生と連携して、プロジェクトの計画、実施、評価に協力してもらう女子中高生助言グループを作りましょう。この連携は、ボランテ

アと女児の両方のグループが、「女子中高生のためのキャリア・サポート」について提案をしたり決定をする機会を持つことを意味します。

### なぜ女子中高生と連携すべきなのでしょう？

女子中高生が、自分たちのためのプロジェクトの計画作りに積極的に関わっていると、そのプロジェクトが成功する可能性が高まります。女子中高生が提供できる知識を利用しましょう。「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」について決定をする権限を女子中高生に与えることは、リーダーシップ、計画作り、チームワークといった重要な技能を開発するのに役立ちます。また、パートナーとなることは、帰属意識と、必要とされ大切にされているという感覚を持つことにもつながります。これは、女子中高生に自尊心と自信をもたせることに役立ちます。

女児助言グループから代表を選んでもらい、クラブの計画委員会に加わってもらいましょう。

### 女子中高生助言グループを作る方法

女子中高生助言グループは、皆様が「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」を通じて手を差し伸べたいと願っている女児層を反映するグループにします。例えば、地域社会の特定の学校と協力する予定なら、助言グループの女子中高生は、その学校の生徒から選びましょう。彼女たちは、プログラムへの参加者を募ったり、他の女子中高生たちにプログラム評価などに協力してもらうのを助けてくれることでしょう。

参加する女子中高生を探すにはさまざまな方法があります。学校や社会福祉機関、地域団体とパートナーを組むこともできますし、スポーツチーム、もしくは宗教センターに連絡するのもよいでしょう。コミュニティ評価を行う中で、女児のために活動するたくさんの団体をおそらく見つけ出したことでしょう。

将来的には、助言グループに加わってもらう女子中高生として、過去の「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」の参加者を招くこともできます。

### 女子中高生と一緒に活動する際のヒント

皆様にとり、女子中高生と一緒に活動するのは初めてのこともかもしれません。よい関係を築く上で、次のようなヒントを役立ててください。

- 女子中高生の意見に耳を傾け、その提案をよく吟味し、敬意を払いましょう。もし、アイデアを実施できないときは、なぜできないかを説明しましょう。
- 成人のボランティアがプログラムを主導しますが、大切なことを決める時は女子中高生と一緒に行うようにしましょう。
- 女子中高生に、やりがいがあって責任のある役割を割り当ててください。そしてそれらの役割をうまくこなせるように研修と支援を提供しましょう。
- ひとり、ひとりを尊重し、ユニークな意見に興味をもっていることを伝えましょう。一人が全体の考えを代表しているとは考えないようにしましょう。
- 早急に物事を進めないようにします。女子中高生の信頼を得て、よい関係を築くには時間がかかります。
- 女子中高生が参加しやすい時間、場所で会合を開きましょう。
- 女子中高生には他の興味や責務もあるかもしれません。責務で圧倒することのないようにし、「No」という場合には理解するようにしましょう。
- 大人と同じレベルのことを期待しないでください。また厳しい基準で束縛しないでください。
- あなたの役割はパートナーであって親ではないことを忘れないようにしましょう。私たちは、親とは違った形で大人と関わる機会を提供したいと願っています。
- 女子中高生を理詰めで言い負かさないようにし、忍耐と支援の気持ちで励ますようにしましょう。
- プロジェクトに参加する時は必ず保護者の了解を得るようにしましょう。

- 諮問グループの会合や小規模なグループ・メンターリング・セッション、会議に参加する女子中高生に、公共交通機関による交通費を提供しましょう。

女兒と活動とするボランティアに、プロジェクトを通じて学んだことで、活動する前に知っておけばよかったことを尋ねました。

- 「女兒とソプロチミストの間の、文化的、世代的、社会・経済的違いを理解し、予測することを学びました」ー アナ・ニール(米国カリフォルニア州、ガーデン・グローブ)
- 「10代の時には、自信を持っている状態から完全に絶望して落ち込むなど、さまざまな段階を経験するものなので、女兒、そしてその親にとってもメンターを持つことがいかに大切かを知りました」ー スーザン・ホーランドスワース(米国オレゴン州、アシュランド)
- 「女兒の知性と感情は非常にシャープであることを知りました」ー エリッサ・ウィルソン(米国ウィスコンシン州、エヴァンストン)
- 「非常にやる気のある、他人を助けることに情熱をもった若い女性たちに出会いました。10代の女性は、自己中心的であると描かれることもありますが、地域社会に関われば関わるほど、彼女たちは貢献したいと願うようになることを知りました」ー キャロル・セラー(米国メリーランド州、アッパー・モンゴメリ・カウンティ)
- 「若い女性は信じられないほど多面的な問題と試練に直面しており、現代社会の中で彼女たちを手助けすることの複雑さを学びました」ー モニカ・ディクソン(米国ワシントン州、セキム)
- 「女兒たちがどれほど関心を引き付けたいと思っているかを知っていたらと思います。私たちは、女兒たちは無関心で、私たちをただの小母さんとするだけだと思っていました。ところが、彼女たちはとても責任感があり、私たちと一緒に時間を過ごすのを楽しんでいました」ードロシー・ピアース(米国ペンシルベニア州、センターカウンティ)

## VII. モデルを選ぶ: 小規模なグループ・メンターリングもしくは会議

「夢を拓く」カリキュラムは、女子中高生がキャリア目標を理解し、それを達成するのに役立つ情報を提供します。ボランティアは、この情報を伝えるために、小規模なグループ・メンターリングもしくは会議の二つのモデルのうちいずれかを選ぶことができます。モデルの選択は、コミュニティー評価の成果とボランティアの関心に基いて決めます。いずれのモデルも同じくらいの作業と準備が必要です。

### 小規模なグループ・メンターリング

小規模なグループ・メンターリングは、ボランティアが小規模な女子中高生グループと約1時間にわたる会合を数週間～数か月にわたって行います。1回の会合で、カリキュラムの1セッションを取り上げます。参加できる女子中高生の数は、関心を持つ女子中高生とボランティアの人数によって決まります。参加する女子中高生の数は、ボランティア一人につき4人を超えない方が良いでしょう。

## 会議

会議は、より短い時間でカリキュラムを学ぶために大勢の女子中高生を集めて行うことができます。会議形式の場合、会議を開催するのにふさわしい場所を見つけ、カリキュラムに基づいた会議プログラムを作り、講演者を確保し、その日に対象者が参加できるようにすることが必要です。短期間に大勢の女子中高生に情報を届けることができますが、小規模なグループ・メンターリング・セッションのような親密な関係を築くことはできないでしょう。週末や学校が休みの日、祝日といった日が、会議形式を開催するのに適しています。

いずれのモデルも、女子中高生のための楽しいチーム作りの活動が含まれており、毎年新しい女子中高生たちを対象にして繰り返すことができます。

## VIII. 地域社会のパートナーと関係を築く

コミュニティー評価を行った際に、女兒と一緒に活動している団体、企業、個人、学校の窓口を見つけたことでしょう。カリキュラムを実施するモデルを選んだら、次は可能性のあるパートナーに連絡を取る番です。女兒と一緒に活動する、もしくはキャリア・サポートのテーマに取り組むのはボランティアにとって初めての経験かもしれません。女兒を助けるというゴールを共有している学校や地元の団体と連携することは、プロジェクトの影響力を高めるのに役立ちます。さらに、

- パートナーシップによって、単独で行う場合よりも多くの女兒に手を差し伸べ、単独ではできないような活動を実現することができます。
- パートナーシップによって、社会問題により効果的かつ徹底的に対処できるようになり、資源のより良い活用が可能になります。
- パートナーシップにより、女兒に関わる問題を認識し、活動する団体の数を増やすことができます。
- 女兒の問題に関して実績のある団体やパートナーを持つことで、プロジェクトへの信用が増します。

他の団体と話し合いをしている時には、計画委員会の委員を務めてくれるような人材を探すようにしましょう。重要な関係者に計画作りに関わってもらうことは、プロジェクトを成功させるのに役立ちます。

コミュニティー評価を見直して、プロジェクトに必要なものを判断しましょう。その後、プロジェクトに貢献してもらえるだけでなく、連携することで先方にも得るものがある地元の企業、団体、学校を見つけましょう。それらに連絡をとり、関係を築き始めましょう。

パートナーシップを成功させるために欠かせない二つの要素は、明確に定められた目的と、継続的なコミュニケーションです。役割（責務）と目的を明確に定めるためにパートナーと協力しましょう。それらを明確に述べた書面による同意書を用意するとよいかもしれません。すべてのパートナーにしっかり情報が伝えられるよう、コミュニケーションの機会を複数回持つようにしましょう。また、成功を示す指標についてすべてのパートナーの合意を得るようにします。すべての関係機関が、成功の定義について合意することが大切です。

## IX. 予算作成と資金調達

### 予算の作成

計画の準備が整ったなら、予算を作りましょう。支出と収入の両方を特定しましょう。予算を作成するときには、できる限り詳細に項目別に書き出すようにします。初期予算ができたなら、お手持ちの資金と比較しましょう。予算が、お手持ちの資金より大きい可能性はあります。その場合、不足を補うために資金調達を行う方法を決めなければなりません。



## 資金を調達する

資金調達にはかなりの時間とエネルギーが必要ですので、資金調達委員会を作るために3~5人のボランティアを見つけましょう。プロジェクトのための資金を調達するには主に4つの方法があります。

- 地域社会で資金調達行事を行う。
- 地元企業からのスポンサーシップを募る。
- 助成金に応募する。
- 地域社会のメンバーから寄付を募る。

**地域社会で資金調達行事を行うことは資金調達の優れた方法であるばかりでなく、地域社会でソロプチミスト/Live Your Dream.orgの存在感を高めるためにもよい法方です。**

コミュニティー評価を行った際に、プロジェクトを支援することに興味があるかもしれない企業を見つけたかもしれません。「夢を拓く」プロジェクトをスポンサーすることは、企業にとって、地域社会への還元に力を入れていることを示す機会になり得ます。寄付金や現物寄付(女兒へ提供する食品や景品など)、もしくは物品・サービスの割引などの提供を依頼し、**スポンサーシップ**を募りましょう。プロジェクトについて簡単に説明し、プロジェクトを支援することが企業にもたらずプラスの面を説明しましょう。企業は見返りに何を得られるのでしょうか？皆様は、そのスポンサーシップにどのように感謝を示し、公表しますか？他にもスポンサーがいる場合はそれも伝えましょう。

資金調達のための他の方法としては、**地域社会の助成金**があります。応募可能な助成金を探し、申請しましょう。

さらに、**地域社会の個人に寄付をお願いする**という方法もあります。もし、コミュニティー評価を行った際にプロジェクトに財政支援をしてくださる可能性のある個人を見つけられたなら、寄付を依頼してみましょ。他のボランティアに寄付をお願いすることも可能ですが、ボランティアはすでに寛大な時間とエネルギーを提供してくれていることを忘れないようにしましょう。

## X. 会場を見つける

交通の便がよく、グループの規模に適切で利用可能な場所を見つけることは重要です。町の中心地もしくは女子中高生の多くが通う学校や組織から遠くなく、気軽で快適な場所を見つけるようにしましょう。もし会場が非常に遠い場合、交通手段が問題となり、一部の女子中高生が参加を断念するかもしれません。

場所を決める際には、様々なコミュニティー資源があります。まず地元の学校に昼休みや放課後、あるいは週末に利用可能な教室や体育館、講堂がないか調べてみましょう。

地域のコミュニティー・センター(YMCA、YWCA、フィットネス・センターなど)に、一般の人が利用できる適切な部屋があるかもしれません。さらに、地元の宗教コミュニティーと関連したホールやセンターがレンタル可能かもしれません。

地元の大学(通常、講義時間外に利用できる大きな講堂や教室がある)に連絡してみることも良いでしょう。近隣のホテルや集会所、サマーキャンプ、会議センターも会場として利用できるかもしれません。

会場を見つけたら、プロジェクトのための期日と時間を設定します。

## XI. 「夢を拓く」に参加する女子中高生を探す

「夢を拓く」は、自分の夢を生きるための資源や情報を持たない女子中高生に手を差し伸べることを狙いとしています。このプログラムは、secondary schoolの女兒—または学位や卒業証書を受け取る前の学業期にある女兒(日本では、中学校、高校に通う14歳から18歳までの女兒)に重点を置いています。多くの場合、女兒の年齢は、14歳から18歳です。他の年齢の女兒もプログラムから恩恵を受けるかもしれませんが、ソロプティスト/LiveYourDream.orgがプログラムを作るために一年をかけて行った調査では、この具体的な年齢層の女兒のためのこの具体的なニーズが特定されました。

すべての女兒が女性というジェンダー(性)ゆえに障害に直面していますが、私たちは、更なる障害(低所得層の地域社会や、不安定な家庭生活、少数派民族、移民もしくは難民家庭、児童養護施設、十代の親といった状況など)を抱えている女兒に手を差し伸べたいと考えています。これらの女兒が自分のキャリア目標と成功への道筋を特定するのを支援することは、彼女たちが将来直面する問題や障害を克服することを助けることとなります。具体的には次のような女兒です。

- 成功する上で障害に直面している
- 夢が頓挫するリスクを抱えている
- 職業上のお手本となる女性がいらない
- キャリア教育へのアクセスがない
- 目標を達成するために取るべきステップを知らない

一般的に、ターゲットとなる参加者(このプログラムに関与することで最も恩恵を受ける参加者)を判断するために、ご自身のコミュニティーのニーズについて広く考えてみましょう。女子中高生助言グループに参加する女子中高生を探す時と同じような方法で、学校や社会福祉機関、地域団体とパートナーを組むこともできますし、スポーツチーム、もしくは宗教センターに連絡するのもよいでしょう。学校の進路相談担当者に連絡し、卒業前に退学するリスクがある女子中高生に手を差し伸べることや、女兒団体、女兒向けサマーキャンプ、十代向けプログラム、十代の妊婦を対象としたシェルター、児童養護施設のスタッフに連絡することを検討してみてください。

また、コミュニティー評価を実施した際に、女兒と共に活動する組織を特定されたことと思います。それらの資源を使って、女子中高生を見つけたり、皆様のプロジェクトを宣伝することもよいでしょう。

女子中高生を見つけ始める際、このプロジェクトには二つの実施方法(会議形式と小規模なグループ・メンターリング)があることを念頭に置いてください。グループの規模や女子中高生の具体的なニーズによって、どちらの手法がより適切かが判断できるでしょう。(VI.「女子中高生と一緒に活動する際のヒント」の項を参照してください)

## XII. 次のステップ

この時点までに、計画委員会と女子中高生助言グループが設立され、小規模なグループ・メンターリングか会議形式のいずれかを選択し、地域社会のパートナーを見つけ、参加する女子中高生を見つける場所やプロジェクトの会場、ならびにプロジェクトの資金調達方法について検討していることでしょう。次のステップは地域社会におけるプロジェクトの詳細を計画することです。次のような検討事項が考えられます。

- 「夢を拓く」の追加資源を点検する(このツールキットのIIIを参照)。
- ブレインストーム(意見の出し合い)、調査、カリキュラム・セッションに関するゲスト講演者への連絡。
- 日記帳やプレスレット、ステッカー、ペン、Tシャツなど、「夢を拓く」の追加品を決定し、注文する。

「夢を拓く: 計画ツールキット」はこれで終了です。さあ、次は「夢を拓く: カリキュラム・ガイド」と「夢を拓く: カリキュラム」を確認し、プロジェクトを実施しましょう！！